

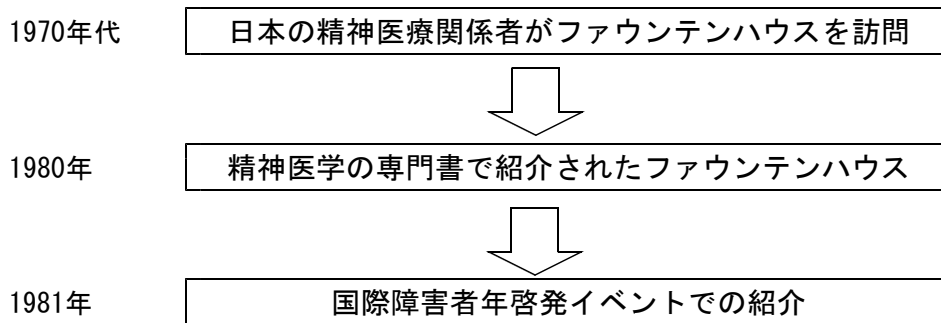
「日本におけるクラブハウスモデルの歩みと未来」

～ クラブハウスの価値や哲学を伝えることの意義 ～

佛教大学福祉教育開発センター 泉 洋 一

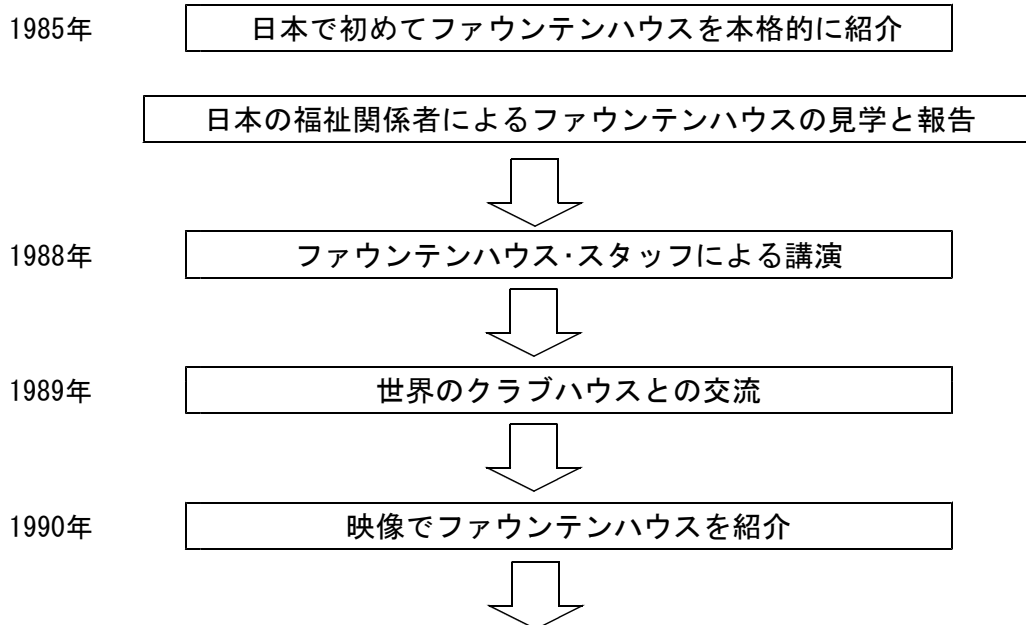
1. 日本におけるクラブハウスモデルの歩み

○1985年にファウンテンハウスの取り組みが日本に紹介されて25年経ちました。
この間のクラブハウスモデルの歩みを紹介します



①1985年～1991年 クラブハウスモデル導入期

視察や見学、文献、報告等での紹介



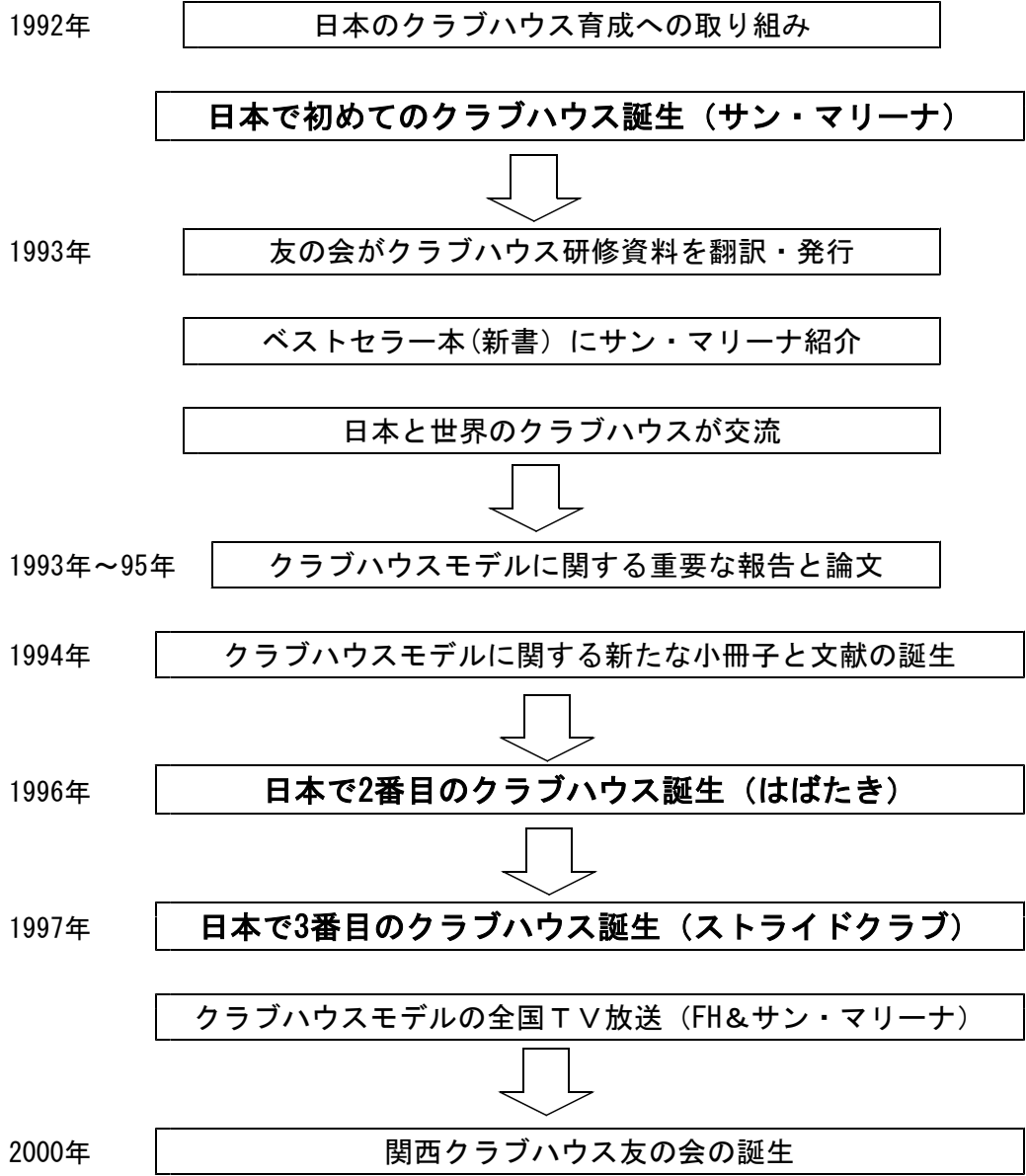
- 1991年

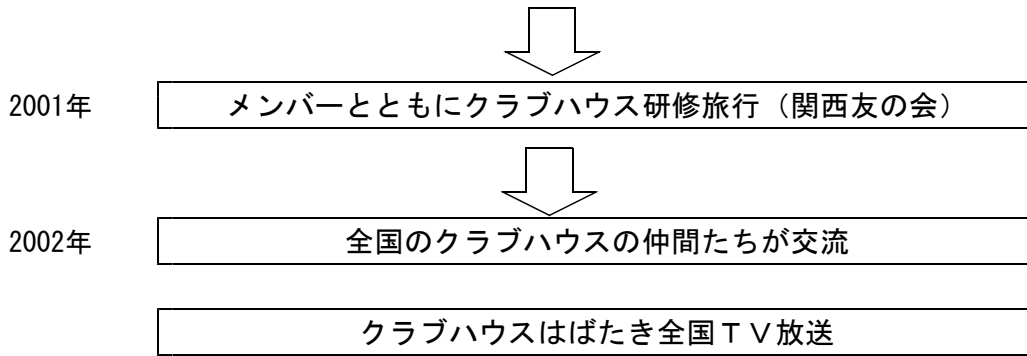
職業リハの専門家が世界クラブハウス会議へ

- | |
|-----------------------------|
| ファウンテンハウス・スタッフによる講演 (JHC板橋) |
|-----------------------------|

- | |
|-------------------------|
| ファウンテンハウスの研修へ参加 (JHC板橋) |
|-------------------------|

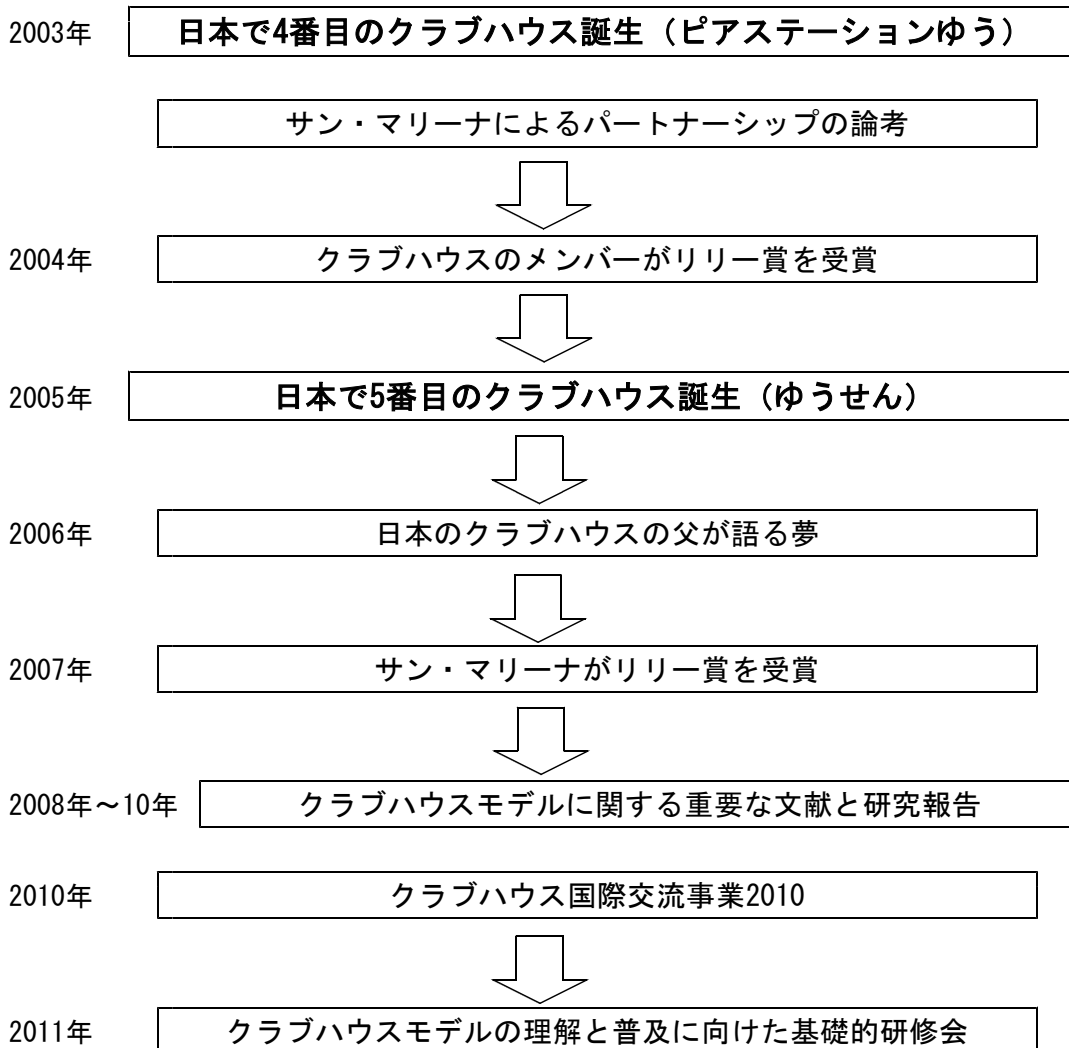
②1991年～2002年 クラブハウスモデル実践期
クラブハウスの設立、土台や基盤造り
クラブハウスの哲学や文化を実践の中で確認し、深めていった





③2003年～2010年 クラブハウスモデル展開期

東京以外の地方都市でクラブハウスができるという可能性を示した
クラブハウスの普遍性



④積極的なアウトリーチの必要性

- ・私たちは一体誰に向き合うのか
- ・孤立している仲間のもとへ希望を届ける

☆「この世の最大の不幸は、貧しさや病ではありません。だれからも自分は必要とされていないと感じることです」マザー・テレサ（1952年）

3. みんなで考えようクラブハウスの未来

☆「人はすべてのことを行うことはできないが、誰でも何かをすることはできる」
スウェーデン・クラブハウスのメッセージ